

⑩ ツバメの観察

1 子どもたちに伝えたいこと

- ・ツバメの巣や子育ての様子を観察し、ツバメと日野の自然環境の関わりを考えてよう。
- ・ツバメは他の野鳥と比べてどんな特徴があるか調べてみよう。

2 実施時期：4月～7月

3 実施場所：屋外

住宅地や街中（ツバメ）、橋の下や高速道路下（イワツバメ）

4 対象学年：全学年

5 関連教科：総合

6 時数：2時限

7 事前準備

- ・河川・公園管理者への申請（必要な場合）
- ・フィールド（ツバメの飛んでいる場所や巣のある場所）の下見
- ・ツバメについての事前学習
- ・ツバメの資料の作成と印刷

8 当日

(1) 準備する材料や道具

学校：印刷した資料、記録帳、あれば双眼鏡など

どんぐりクラブ：双眼鏡など、ボランティア袋（ゴミ拾い用）

(2) 授業の流れ

① あいさつ・資料の配布

- ・日野で見られるツバメの話

② 観察

- ・どんなところに巣を作っているか
- ・ツバメの巣の形、巣の材料
- ・ヒナに餌を与える様子（餌は何か）
- ・巣の下に落ちているものはないか（フンや卵の殻など）
- ・餌の捕りかた
- ・ツバメの種類
- ・（できれば）ツバメの鳴き声

③ 終わりのあいさつ

9 備考

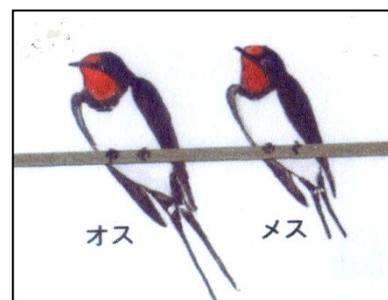
- ・日野には、「ツバメ」「イワツバメ」「コシアカツバメ」の3種類が繁殖している。よく見られるのは「ツバメ」と「イワツバメ」で、めずらしい「コシアカツバメ」は市内2カ所くらいで見られる。
- ・ツバメはなぜ民家の軒下に巣を作るのか、イワツバメはなぜ橋の下に巣を作るのか、考えてみる。同時にツバメの天敵はどんなものがあるか調べてみよう。
- ・ツバメと人とのかかわりについて考えてみよう。
- ・日本のツバメはどの地域や国から飛んでくるのか、越冬地を調べよう。
- ・民家の軒下での観察はクラス全体では迷惑になるので、グループごとで実施する。
- ・鳥インフルエンザが問題になっているようであれば、巣の下に落ちている物を拾う時には素手で触らないようにする。
- ・ツバメの専門の先生を招いて指導を受けることもある。



<空中で餌を捕食するツバメ>



<ツバメの巣とヒナ>



<ツバメのオスとメス>